

算数科でのICT活用 学力向上に成果

東京・平山小が研究発表

1月28日、東京都日野市立平山小学校（五十嵐俊子校長）は、「学力向上を目指すICTの活用（算数）」をテーマに研究発表会を行った。

平山小は、平成21年度から、児童の算数科

教師自身が学び、授業改善

つを、大きな要因として上げた。

研究主任の折茂

における「基礎基本の完全習得」と「数学的な思考力の育成」を図ることを目的に、ICTを活用した実践研究に取り組んでいる。同校は、(財)パナソニック教育財団の特別研究指定校。

引き続き行われた全体会で

慎一郎主任教諭は、「子どもたちの学力を上げたい―その願い一心でこの2年間、研究に取り組んできました。教師自身が学び、変わることで、授業が変わります」と延べた。

また、五十嵐校長は「平山

発表した。
児童の学力が伸びたのは、基本的な生活習慣の確立を、家庭・地域と連携して行ったこと。学習のつまづきの見られる児童を対象に、夏の補習を中心とした個別指導に力を入れたこと。毎日の授業で、学力向上プランに基づき、ICTを活用した授業改善の3

保護者の皆さんと子どもたちを育てるために歩んでいきます」と語った。

なお、研究発表会の様子や取り組み内容は、平山小のHP (<http://www.e-hirayama.hino-ky.ed.jp>) やパナソニック教育財団HP (<http://www.pef.or.jp>) で確認できる。

■問い合わせ 日野市立平山小学校 電話 042・592・6381

